

安全に使用するための注意

使用上の注意(つづき)

V-10の場合

- エンジンスターターを使用する際は、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジの位置にしてください。
- リモコンでエンジンを始動し、走行後エンジンを停止すると、Pレンジ以外でもエンジンキーが抜ける車があります。このような車は、付属の「安全センサーケーブル」でドアスイッチ配線を行い、乗車前に一旦エンジンを停止させてください。エンジンキーにて再始動することで、Pレンジ以外でエンジンキーが抜けることはありません。詳細は、72ページの「ドアスイッチ配線方法」を確認してください。
- オートライト装着車に取り付けオートの状態で使用した場合、夜間にリモコンでエンジンを始動すると、車のライトが点灯しリモコンでのエンジン停止後自動停止後に消灯しません。バッテリー上がりの原因となりますので、ライトスイッチはOFFの状態で使用してください。一部の車種は「オートライトアダプター」(別売)を取り付けることで、オートの状態でも使用できるようになります。
- エンジンキーでエンジンを始動したときに充電警告灯が消えない場合は、エンジンスターターの使用を止め、車の点検・整備をしてください。
- オートチルトおよびマイコンプリセットステアリング装着車に取り付けた場合、リモコンでのアイドリング中にエンジンキーを差し込んでモステアリングは動きません。エンジンを停止し、エンジンキーにて再始動してください。付属の「安全センサーケーブル」をドアスイッチ配線に接続することで、ドアを開けると同時にエンジンを停止させることもできます。詳細は、72ページの「ドアスイッチ配線方法」を確認してください。
- 寒冷地では、エンジンがかかりにくいことがあります。スターター動作時間3秒以内で、エンジンが始動するように車を整備してください。
- バッテリーが弱っている車や改造車は、正常にエンジン始動できない場合があります。
- 環境保護のため、必要以上のアイドリングは行わないでください。
- エンジンスターター(ターボタイマー含む)は、公道上で使用しないでください。公道上での使用は、違法となります。

安全に取り付けるための注意

取り付け上の注意



- 本品を車に取り付ける際は、必ずエンジンキーを抜き、不用意にエンジンがかからない状態で作業してください。重大な事故の原因となります。



- 本品の各ユニットのコネクター部にドライバー等の金属を接触させたり、異物を入れたりしないでください。内部でショートし、火災・故障の原因となります。
- 本品の各ユニットは、運転の妨げになる場所やエアバッグの動作を妨げる場所に取り付けしないでください。事故の原因となります。
- ハーネス類等は、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近に固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンド等で確実に固定してください。また車のカバーや内張り等で配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。
- 取り付け後に、各ユニットや配線類が、しっかり固定されているか確認してください。固定が不十分だと脱落し、事故の原因となります。
- ハザードハーネスの赤／白コード(常時電源線)の配線は、車両側のハザード電源線以外の場所に接続しないでください。車両のヒューズ切れや事故の原因となります。



- テスターで電圧を確認する場合を除き、バッテリーケーブルのマイナス端子を外して作業を行ってください。外さずに作業すると配線がショートし、火災・故障の原因となります。外しかたについては、車両搭載装置に悪影響を与える恐れがありますので、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で確認してください。
- 本品の各ユニットは、防水構造ではありません。水がかからない場所に取り付けてください。火災・故障の原因となります。
- 本品の各ユニットは、エアコンの吹き出し口付近に取り付けしないでください。高温になったり結露し、故障の原因となります。
- エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部分が、車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。
- 車のカバーやドアの内張りを外す際は、部品を破損しないように慎重に作業してください。カバーや内張りが元に戻らなくなる恐れがあります。
- サイレンを取り付ける場合、エンジンの排気装置等極端に高温になる場所やグリルまわり等の直接水がかかるような場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- 振動センサーは、しっかりと固定してください。固定が不十分だと感度が鈍くなります。
- アース線を固定する場合、塗装されている金属部分や車の振動等で緩んでしまうような場所に接続しないでください。動作不良の原因となります。
- ヒューズユニットは、必ず車両側の青色(同じ定格電流)ヒューズと差し替えてください。色の違うヒューズと差し替えた場合、ヒューズが切れたり、車両側に悪影響を与える恐れがあります。
- 接続していない端子部は、ビニールテープ等で絶縁処理してください。ショートし、火災・故障の原因となります。

安全に取り付けるための注意

取り付け上の注意(つづき)

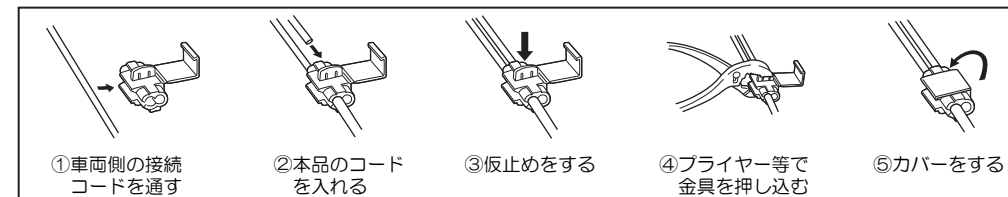
●取り付け工具について

ドライバー・プライヤー・ニッパ・スパナ・アナログテスター(検電ランプは使用不可)等の工具は、本品には同梱されていません。別途用意してください。



- 必ずテスターを使用してください。検電ランプを使用すると、車両の回路破損等の故障の原因となります。

●付属のエレクトロタップ(赤色)の接続方法



取り付け可能な車種

(1) V-10の取り付け可能な車種

- 「E G Sシリーズ対応車種一覧表」の最新版に記載されている車であること。

「E G Sシリーズ対応車種一覧表」の最新版を確認の上、車に適合した当社の専用ハーネスを使用してください。また他のエンジンスターターやターボタイマー用ハーネスを流用・加工しての取り付けは、絶対にしないでください。

- スターター動作時間3秒以内で、エンジンが始動できる車であること。

対応車種は、以下の条件を考慮して選定しております。

- オートマチック車であること。(マニュアル車にはお取り付けできません。)
- 国産車であること。
- 電子燃料噴射装置搭載車であること。

(2) ドアロック配線が可能な車種

- V-1の場合
店頭の「ドアロック対応車種一覧表」の最新版を確認してください。車によって別売商品が必要となります。
- V-10の場合
店頭の「E G Sシリーズ対応車種一覧表」の最新版を確認してください。車によって別売商品が必要となります。

(3) ハザード配線について

本品のハザード点滅回路で、車両側のハザードを点滅させることができない車があります。販売店または当社第二事業部技術サービスまでお問い合わせください。